

## バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

|      |  |
|------|--|
| 学会名  | 植物化学調節学会第52回大会   |
| 演題名  | 組織癒合に関わるANAC転写因子の機能と標的遺伝子  |
| 発表者  | ○松岡啓太[1]、阿部薫[1]※、津吉菜摘[1]※、佐藤忍[2]、朝比奈雅志[1] 【植物生理学研究室】<br>(1帝京大・理工・バイオ、2筑波大・生命) [1]:帝京大・理工・バイオ、[2]:筑波大・生命環境<br>(登壇者には○、卒研生または大学院生には※、本学教職員、研究員にはアンダーライン)   |
| 内容   | <p>我々はこれまでに、シロイヌナズナ花茎の部分的な切断や、シロイヌナズナ胚軸間における接ぎ木過程では、細胞分裂が誘導されることによって、切り離された組織が強固に再接着することを報告している。本研究では、癒合過程における細胞分裂に対するANAC転写因子の機能を解明することを目的としておこなった。発表では、植物特有の転写因子であるNAC遺伝子の一種が維管束組織の再生にどのように関与しているかについて、多くの研究者と議論が交わされた。</p> <p>本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、科学研究費補助金「切断組織の再生を制御する植物ホルモンと遺伝子の時空間的制御」による支援を受けて行ったものであり、筑波大学との共同研究として遂行している。</p> |
| 関連画像 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">会場となった鹿児島大学群元キャンパスと鹿児島市内からみた桜島</p>  |